

【算数】

<学習内容>

◆2年生 ①「ココアはいくつ」（きょうかしょ7～9ページ）

$$\boxed{\text{コ}} + \boxed{\text{コ}} + \boxed{\text{ア}} = 15$$

上の文字に1から9までの数をあてはめて、式をつくりましょう。

$$\boxed{} + \boxed{} + \boxed{} = 15$$



2つの $\boxed{\text{コ}}$ には、同じ数が入るよ。

式は、一つではなさそうだね。



全部でいくつあるか探して、書いてみよう。

Blank area for students to write their solutions.



ほかのもんだいでも考えてみよう！

$$\boxed{\text{ル}} + \boxed{\text{ル}} + \boxed{\text{ル}} = 12$$

自分でもんだいをつくってみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・「コ」には、同じ数字が入ること、「ア」と「コ」には異なる数字がはいることに気付かせたい。また、自分で気付いていたら、褒めてあげてください。

※文字＝数字のように、算数では口やa等に置き換えて考えることがあります。
この問題は、そのような見方を育む素地となります。

- ・ 式は、「一つだけではない」ということにも気付かせたい。
※算数の学習では、答えが一つだけではないこと⇒「ほかの場合も考える」ということに子どもが自分で気付けるように関わるのが大切です。（教科書P6）
- ・ 複数の式を見付ける活動を行わせませす。

※自分で探し、見付ける活動を楽しませることで、算数に対する意欲を高めたい。

- ・ $\squareル$ 、 $\squareル$ 、 $\squareル$ の等は同じ数を3回足していること。つまり、 $\squareル \times 3$ と考えることができ、2年生で学ぶ「かけ算」の素地となる活動になります。

